

とよ かわ よう すい
豊川用水



2. 用水のしくみ

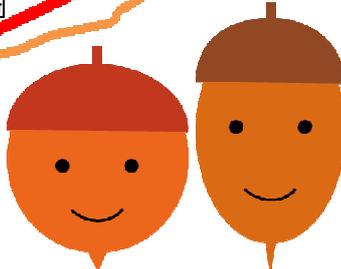
とよがわようすい ちようせい
 豊川用水には、ダムや調整池がたくさん作られています。
 したらちよう とよねむら
 設楽町や豊根村などの奥三河の山々でふった雨をダムや調整池にためておき、川の水が少なくなったときに、ここから流します。

うれ
 宇連川の途中をせき止めた大野頭首工から、豊川用水の水路に水を取り入れ、遠く愛知県の渥美半島や静岡県湖西市へ水を送っています。

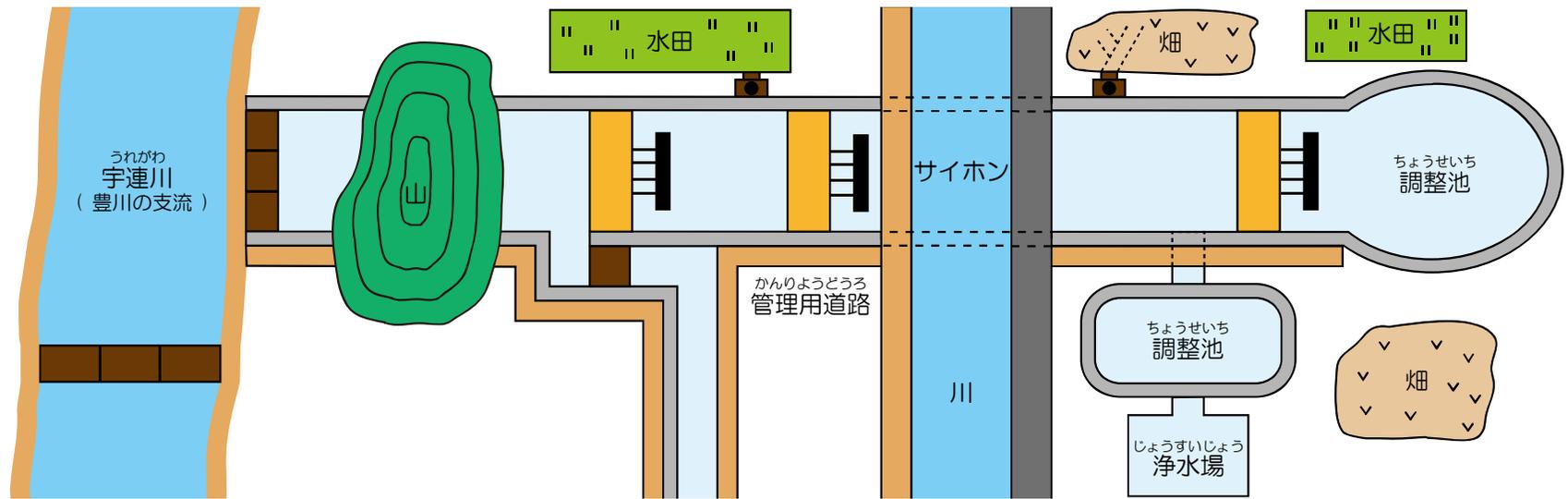
すいろ
 水路で送られた水は、田畑や温室で米や野菜、花などの作物を作るために使われたり、家庭、学校、会社の飲み水やトイレなどに使われたり、工場で自動車や機械を作るために使われます。



うれ
 宇連ダムの水はおよそ1日かけて渥美半島の先まで流れて行きます。



すい
水路を上からみた絵



すい
水路をたてに切ってみた絵

